



ハマの仕事 ハマる仕事

大好きな街、ヨコハマの未来を拓く。

2024

RECRUITING
INFORMATION



<https://ja-yokohama.or.jp>



人や地域との **つながり** を大切に、 心豊かな暮らしを支えています。

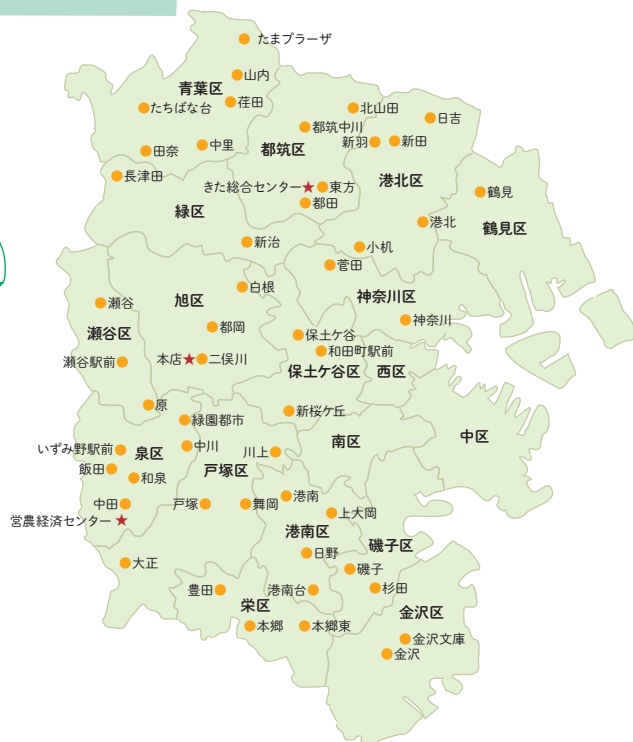
地域の方々との深いつながりを強みに、
地域の発展と心豊かな毎日のために貢献することが、私たちJA横浜の仕事です。
組合員のご要望に全力で応えること、日々の暮らしにやさしく寄り添うこと、
困りごとを最初に相談しようと思われる存在であること。
そのために一人ひとりが思いやりの心で人とのつながりを大切にし、
向上心をもって学び続けています。
地域とともに人としても大きく成長できる仕事を、横浜で。



本店・支店一覧

★ 本店
● 支店

横浜市内
50支店



会社概要

■ 創立	2003年4月
■ 営業地区	横浜市
■ 出資金	116億円
■ 総資産	2兆700億円
■ 貯金残高	1兆8,447億円
■ 貸出金残高	6,712億円
■ 長期共済保有契約高	3兆162億円
■ 販売品取扱高	30億円
■ 購買取扱高	151億円 (斡旋購買取扱高126億円含む)
■ 組合員数	71,820人 (正組合員11,060人 准組合員60,760人)
■ 役員数	59人 (うち常勤9人)
■ 職員数	1,337人 (嘱託・パート等を除く)
■ 自己資本比率	13.13%(単体)

(2023年3月31日現在)



事業紹介

農畜産物の販売から地域のくらしまで、幅広い領域で事業を展開しています。

信用事業

JAバンクは、貯金・貸出・投資信託・為替など金融サービスを提供しています。また、組合員・利用者のライフイベントに基づいた適時・適切な金融商品・サービスの提案やご相談も承っています。

購買事業

JA横浜では生産資材店舗「メルカート」を6店舗運営しています。農家組合員が農業を行うにあたり必要となる、様々な資材を販売します。肥料や農薬、農機具など、取り扱うカテゴリーは実に多彩です。

主な事業

JA横浜
Yokohama

指導事業(営農)

農業の営みを支え、これからの農業を支援していく事業です。JA横浜には十数名の「営農インストラクター」があり、組合員宅を訪問しながら営農に関する情報提供やご相談に応え、農業運営を支えます。

共済事業

共済とは、組合員・利用者からの共済掛金により、万が一の事態が生じた際に保障する仕組みです。JA共済は、生命保険と損害保険の両機能を兼ねそなえ、「ひと・いえ・くるま」に関する保障を総合的に提供しています。

販売事業

農家組合員が生産した新鮮な農畜産物を販売する「ハマッ子」直売所を13店舗運営しています。また、横浜市庁舎への出張販売や移動販売にも力を入れ、新たな販路拡大につとめています。

指導事業 (生活)



行政・企業と連携した横浜農業のPRや、食農教育の一環として横浜産農産物を学校給食の食材として横浜市立小学校などへ供給しています。また、「JA横浜書道コンクール」などを実施しています。

指導事業 (相談)



相続・遺言相談や確定申告などの相談窓口を設けています。法務や税務相談など専門家と連携しサポートすることで、組合員が安心して農業に取り組める環境づくりを行っています。

不動産事業 (子会社)



「組合員・利用者の財産の保全と経営の安定」を基本方針とし、アパートや店舗などのご提案、建設のお手伝いを通じて、「安心と信頼の不動産事業」を展開しています。

葬祭事業 (子会社)



組合員が葬儀を行う場合の支援を行います。JA横浜の使命は、組合員とご家族における生活の全てをサポートすることです。「心のこもった葬祭事業」の展開を通じて組合員・利用者へ寄り添います。



得意先係

高橋 颯人

Takahashi Hayato

2020年入組 | 法学部法律学科卒



地元密着で人との関わりが深い仕事

就職活動では、人との関わりの深い業種という視点で金融関係を中心に研究。JA横浜に決めたのは、自宅近くに支店があり、町内会や農業まつりなどを通して地元密着した存在であることをよく知っていたからです。入組後は得意先係に配属され、組合員の自宅を訪問して共済や



貯金、融資など個々の状況に適した提案をしています。JAだけが扱う共済を含め、生活全般にわたる一つの窓口で対応できる総合型事業がJAの強みであり、組合員に期待されている役割でもあると感じています。

チームワークの良さがJA横浜のDNA

入組した2020年は、コロナ禍で世界が変わってしまった年で戸惑うことばかりでしたが、OJTの先輩が親身になって面倒をみてくれて心強かったです。また、直属の上司のみならず支店長であつても相談しやすい雰囲気があり、安心して仕事に取り組みますし、決裁が早いので迅速な対応ができ、組合員にも喜んでもらえます。一人で背負わず、皆で支え合うチームワークの良さが、JA横浜のDNAなのでしょう。

組合員の大切な資産を預かる責任は大きいですが、フレックス制度を活用してリフレッシュするな



ど、メリハリのある働き方ができることが魅力。営業なので当然成績は求められますが、お客様の喜びが自分の喜びとなり、結果として実績に結びつけてくれれば良いと考えています。向上心をもって、期待以上の提案をする努力を続けたいです。

より成長し経験と知識を還元したい

今後目指すキャリアとしては、新入職員の教育などに携わる人事部門に興味があり、資格の面ではファイナンシャルプランナー1級取得に向け勉強を続けます。経験・知識をしっかりと身に付けて、組合員に還元していきたいと考えています。

地元横浜の役に立つ仕事を

地元横浜でなにか役に立てる仕事をしたいと考えJAに入組。初めは得意先係に配属となりました。口下手である分、話を聞くのが好きで、組合員を訪問した際には、ニーズを聞き出して、解決策を提案。そんなスタイルで経験を重ね、3支店でトータル11年、その間4年ほどは得意先係リーダーを務めました。

しかし、私の目標は、農業に直接関われる「営農インストラクター」。毎年志願し続け、2023年4月に営農部への辞令が出た時には本当にうれしく思いました。JA横浜全体でも10数名の狭き門です。

営農
インストラクター

足立 悟

Adachi Satoru

2011年入組 | 経済学部経済学科卒



業務係

大川 杏

Ohkawa Anzu

2020年入組 | 家政学部管理栄養学科卒

つながりを大切に笑顔で対応

力を合わせて目標に向かって努力できることが、中高時代にバントワリングで培った私の強み。JAに就職した先輩から話を聞き、人との距離が近い仕事で、私にも貢献できる場があるのではと思ったことが入組の決め手でした。

配属された業務係には金融・共済・融資の部門



があり、私は金融部門の窓口で、入出金や為替のほか、商品のご案内やご提案を担当。顔見知りの組合員も多いため、世間話も交えながら明るく笑顔で対応しています。秋の農業まつりなどの機会に、皆さんと交流できることも楽しみのひとつ。JAらしいイベントで、私は大好きです。

FP2級を取得。今後は得意分野を強化

新人時代は、利用者一人ひとりニーズが異なり、何を求めているのか、どうするのがベストかなど、判断できないことが多くありました。しかし、大切な資産を預かるのですから曖昧な状態は許されません。そんな時はまわりに助けを求め、なんでも質問して教えてもらい、自分が納得した上で対応するようにしました。利用者の世帯全体を見て求められていることを察知して、的確に対応することも重要です。資格取得では、入組以来の目



標だったファイナンシャルプランナー2級を取得。今後は新NISAをはじめとする投資の知識を深めるなど、得意分野を強化していきたいです。

自然に助け合う温かい関係を受け継いで

4年目の今年はOJTとして後輩のお世話をするようになり、成長を実感。先輩方に教えていただいたことを後輩に繋げられるよう日々指導を行っています。また、職員同士の関係も良好で、自然に助け合うやさしさ・温かさがあります。昨年結婚したこともあり、産休の入りやすさや時短勤務の先輩が身近にいるのは、とても心強くと感じています。

「農業×金融」のトータルサポート

役割は大きくふたつに分かれ、ひとつは農薬・肥料の講習会や、品種改良の協力など農業そのものへのサポート。もうひとつは税金対策を含めた農地の相談、これは支店と一緒に対応します。このような「農業×金融」のトータルサポートが、他



の金融機関にはないJA横浜の優位性です。定期的に訪問し、たとえば設備投資の相談があれば、支店の融資担当に繋げると同時に、助成金や補助金の案内をするなど、ベストの選択ができるようなアドバイス。私の知識では対応できない専門的な相談に対しては、営農部の技術顧問に伝え確実な回答をするように心がけています。組合員のために皆が力を合わせるという姿勢は、支店も営農部も変わらない良さだと思います。

横浜の農業を守り発展させるために

着任後、初めて手応えを感じたのは、鳥獣害被害に悩む農家に電気柵の相談を受けた案件。



機種の選定から助成金申請の案内、設置までお手伝いし、今年は被害がないと喜ばれた時には、とてもうれしくやりがいを感じました。都会に見える横浜でも、一歩入れば畑が広がる場所はたくさんあります。地産地消できる環境を守り発展させていくために、これからも全力で取り組んでいきたいと考えています。



働き方

フレックスタイム制度・ノー残業デー

2020年度よりフレックスタイム制度を導入。また、毎月2回以上をノー残業デーと定め従業員の柔軟な働き方をサポートしています。

■ フレックス・ノー残業デーにまつわる職員の声

フレックス

社会人スポーツサークルの練習参加日が増えました！ (若手職員)

(ベテラン職員) 週に1回は、地元のボランティア(児童の交通整理)をしてから出勤しています！

ノー残業デー

毎週水曜日は、子どもの習い事の送迎をしています！ (ママ職員)

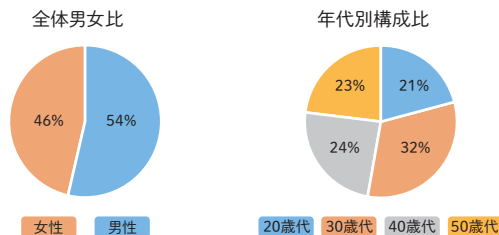
(若手職員) 横浜スタジアムのナイターは試合開始から観戦できます(笑)！

通勤について

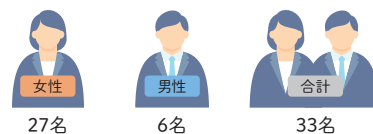
職員の住まいは、横浜市内が中心ですが、横浜市に隣接する川崎市・藤沢市・大和市・鎌倉市・横須賀市をはじめ、相模原市・海老名市・茅ヶ崎市・綾瀬市・都内などからも通勤しています。※通勤時間60分程度を目安に配属先を考慮します。

数字で見るJA横浜

男女比および年代別構成比



2022年度 育児休業取得者数(男女別)



教育制度

内定者研修、職種別研修など充実した研修・教育制度があります。入組後1年間は同じ業務を担当する先輩職員が「OJTトレーナー」として新人職員を指導しています。

■ 入組前	1月	内定者自動車運転講習
	3月	内定者研修会
■ 入組後	4月	渉外担当者研修会 窓口担当者研修会 新任LA(ライフアドバイザー)研修会 共済基礎知識研修会
	4～5月ほか	職員基礎研修会 新採用職員フォロー研修会
	10月	新採用職員×OJTトレーナー合同研修会
	通年	JA基礎力養成ゼミナール など

メンター制度

JA横浜では、人事企画室の職員が内定から入組後まで継続的にサポートする「メンター制度」を導入しています。メンターは、JA横浜に関するご質問はもちろん、学生から社会人になるにあたってのお悩みや、学業やプライベートのご相談にもお応えしています。また、内定者一同が定期的に集まる機会を設け、オリエンテーションやワークショップ、キャリア面談のほか、入組前に同期となる仲間との絆を深めていただけるよう懇親会も行っています。

自己啓発制度

通信教育制度

600種類以上の通信教育のメニューを用意しています。職員自身が、成長度合いや業務内容に合わせて自由に選べるため、「なりたい自分」に向けて着実に歩みを進めることが可能です。

〈奨励資格〉

■ ファイナンシャル・プランニング技能士(1級・2級)

組合員・利用者の夢の実現や人生の目標を叶えるために、サポートをすることができる資格です。金融・税制・不動産・ローン・共済・教育資金・年金制度など、幅広い知識を得ることができ、組合員・利用者からの信頼に繋がります。

■ 営農指導員資格

営農指導員は、農業経営や技術向上をはじめ、新しい作物の導入や農畜産物販売について、農家の相談相手となり、指導やサポートをすることができる資格です。JAと生産者(正組合員)を結ぶ重要な役割を担います。

〈その他奨励資格〉

●金融窓口サービス技能士(1級・2級) ●宅地建物取引士 ●毒物劇物取扱責任者
●販売士(1級・2級) ●社会保険労務士 ●ITバスポート ほか

資格取得手当

ファイナンシャルプランナーや宅地建物取引士といった奨励資格については、資格取得時に受験料の助成および技能手当を支給するなど、個々の意欲をバックアップしています。

採用条件・勤務条件 ■対象 2025年3月卒業予定者 ■募集職種 得意先係、業務係、営農インストラクター(若干名) ■選考方法 書類選考、適性検査、面接 ■提出書類 卒業見込証明書、エントリーシート(写真添付)、成績証明書 ■勤務地 横浜市内(本店/50支店等) ■初任給 大卒・大学院卒/225,000円 短大・専門卒/202,000円(2024年4月以降) ■諸手当 通勤手当 ※加算手当(技能手当、渉外手当、時間外手当ほか) ■退職金 当JAの規定による ■昇給 年1回(4月) ■賞与 年3回(2022年度実績) 7月、12月、3月 ※全体で6か月分程度 ■休日 休暇 完全週休2日制(土日祝) 年末年始休暇、冠婚葬祭休暇、有給休暇(年1回、5営業日の連続休暇あり) ■勤務時間 8:30～17:00(休憩1時間)フレックスタイム制度あり ■社会保険 厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保険 ■福利厚生 健康診断/人間ドック、慶弔見舞、職員厚生資金貸付、各種部活動、各種親睦イベント、保養施設、永年勤続表彰ほか ■その他 実績に応じた表彰あり(成績優秀者への表彰・視察研修の実施等)

採用情報・エントリーはこちらから



横浜市SDGs認証制度



横浜農業協同組合